

http://www

# 新型インフルエンザ ニュースレター@青森県

Pandemic Flu Newsletter @Aomori Pref

## 新型インフルエンザ関連情報をお届けする、ニュースレター

新型インフルエンザ(A/H1N1)は、2011年4月1日から通常の季節性インフルエンザに変わりました。

**現在は、「平時」(新型インフルエンザが発生していない状態)です。**

発行日 Newsletter Date

2012年3月1日

## 目次 Inside This Issue

- 1 『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』第3号
- 2 県内のすべての保健所管内で、インフルエンザ警報レベルが継続
- 3 鳥インフルエンザなどの発生情報
- 4 編集後記

## Front Page

『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』2012年第3号

こんにちは、青森県保健衛生課です。

多くの皆様にご覧いただき、誠にありがとうございます。

今後も引き続き、『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』を  
平時での新型インフルエンザ対策のほか、通常の季節性インフルエンザ  
対策にもご活用ください。

## Information

**県内のすべての保健所管内で、インフルエンザ警報レベルが継続**

県は、3月1日、平成24年第8週(2月20日~26日)におけるインフルエンザ定点当たりの報告数は、第7週(2月13日~19日)に続いて、全保健所管内で警報レベルを超えていると発表しました。

青森県感染症発生動向調査の第8週の定点あたり報告数は29.7(定点数65ヶ所、報告数1,928人)となりました。

【青森県 インフルエンザの発生状況3月1日】

<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/files/2012-0201-1036.pdf>

## 青森県のインフルエンザ発生状況

青森県感染症発生動向調査によると、平成24年第6週(2月6日~12日)での定点あたり報告数は41.8(報告数2,715)、第7週でのそれは36.0(同2,340)でした。

【青森県感染症情報センター 青森県感染症発生情報3月1日】

<http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/kansen.html>

## News

## 鳥インフルエンザなどの発生情報

## 鳥インフルエンザA(H5N1)のヒトへの感染症例

1. ベトナム保健省は、2月8日、鳥インフルエンザ(H5N1)の新たな1例の確定症例を発表。患者等に関する情報は次のとおりです。

- ・ 患者はソクチャン州の26歳の妊婦で、1月23日に発症、25日に入院し、27日に抗インフルエンザ薬(オセルタミビル)による治療を受けましたが、28日に死亡しています。また、この症例からの新生児は、H5N1ウイルスへの感染はしていませんでした。
- ・ 患者は、発症前に病鳥に曝露しています。また、この症例への濃厚接

WHO が確認した鳥インフルエンザ A (H5N1) 感染症例 (2003 年 ~ 2012 年 2 月 28 日)

確定症例	589 人
うち死亡例	348 人
致死率	59.0%

触者については、発症予防措置と健康監視が行われています。

- ▶ ベトナムでは、121 例の確定患者が発生し、うち 61 例が死亡。

【WHO 鳥インフルエンザ—インドネシアの状況 2月8日】

[http://www.who.int/csr/don/2012\\_02\\_08/en/index.html](http://www.who.int/csr/don/2012_02_08/en/index.html)

## 2. インドネシア保健省は、2月21日、鳥インフルエンザ（H5N1）の新たな1例の確定症例を発表。患者等に関する情報は次のとおりです。

- 患者はバンテン県の19歳の女性で、2月8日に発症、12日に入院し、13日に死亡しています。
- 患者の感染源については、調査中です。

- ▶ インドネシアでは、185 例の確定患者が発生し、うち 153 例が死亡。

【WHO 鳥インフルエンザ—インドネシアの状況 2月21日】

[http://www.who.int/csr/don/2012\\_02\\_21/en/index.html](http://www.who.int/csr/don/2012_02_21/en/index.html)

## 3. エジプト保健省は、鳥インフルエンザ（H5N1）の新たな4例の確定症例を発表。患者等に関する情報は次のとおりです。

- ①1 例目の患者について（2月22日公表）

- 患者はミニユフィア県の45歳の女性で、2月10日に発症し、17日に抗インフルエンザ薬（オセルタミビル）の治療を受け、現在回復中。

- ②2 例目の患者について（2月24日公表）

- 患者はガルビーヤ県の1歳の女児で、2月14日に発症、15日に入院、抗インフルエンザ薬（オセルタミビル）の治療を受け、症状は安定しています。

- ③3 例目の患者について（2月28日公表）

- 患者は、ベヒーラ県の32歳の男性で、2月16日に発症、21日に入院し抗インフルエンザ薬（オセルタミビル）の治療を受けましたが、28日に死亡しています。

- ④4 例目の患者について（2月28日公表）

- 患者は、カフル・アッシャイフ県の37歳の女性で、2月18日に発症、23日に入院し抗インフルエンザ薬（オセルタミビル）の治療を受けましたが、26日に死亡しています。

- ①～④の患者とも、発症前に近所の鶏に曝露したことが示唆されています。

- ▶ エジプトでは、163 例の確定患者が発生し、うち 57 例が死亡。

【WHO 鳥インフルエンザ—エジプトの状況 2月22日】

[http://www.who.int/csr/don/2012\\_02\\_22/en/index.html](http://www.who.int/csr/don/2012_02_22/en/index.html)

【WHO 鳥インフルエンザ—エジプトの状況 2月24日】

[http://www.who.int/csr/don/2012\\_02\\_24/en/index.html](http://www.who.int/csr/don/2012_02_24/en/index.html)

【WHO 鳥インフルエンザ—エジプトの状況 2月28日】

[http://www.who.int/csr/don/2012\\_02\\_28/en/index.html](http://www.who.int/csr/don/2012_02_28/en/index.html)

- 鳥インフルエンザ A（H5N1）が再出現した 2003 年以降、2012 年 2 月 28 日までに、WHO に報告された鳥インフルエンザ A（H5N1）確定症例の累計数は 589 人となっています。そのうち 348 人が死亡しています。（致死率は、59.0%）

【WHO ヒトの高病原性鳥インフルエンザ（A/H5N1）感染確定症例数】

[http://www.who.int/influenza/human\\_animal\\_interface/EN\\_GIP\\_20120228CumulativeNumberH5N1cases.pdf](http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/EN_GIP_20120228CumulativeNumberH5N1cases.pdf)

WHO は、2月、「鳥インフルエンザ (H5N1) のヒトの感染等に関する要約と評価 (1月9日現在)」を発表。その内容は次のとおりです。

- エジプトでは、ダカーリヤ県における妊婦、その子供及び妊婦の兄からなる3人のクラスター(感染集団)を含む4人の感染症例が発生。このクラスターにおけるヒト-ヒト感染の可能性が完全に否定されていないが、ヒトでの更なる感染拡大は報告されていない。
- 鳥インフルエンザ (H5N1) のヒトでの感染に関する季節的な発生の傾向等は前回の報告(2011年12月5日)と同様。
- 前回の報告以降、変異型 H3N2 インフルエンザウイルスのヒトへの感染症例を含めて動物のインフルエンザウイルスへの感染例は報告されていない。現在のところ、変異型 H3N2 ウイルスの感染症例では濃厚接触においてのみヒト-ヒト感染が発生しており、子供の感受性が高い。また、その症状は季節性インフルエンザよりも重くなることはないものと見られる。

【WHO 人獣共通のインフルエンザ 2012 年 1 月 9 日現在の要約と評価】

[http://www.who.int/influenza/human\\_animal\\_interface/Influenza\\_Summary\\_IRA\\_HA\\_interface.pdf](http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/Influenza_Summary_IRA_HA_interface.pdf)

### ブタ由来インフルエンザ H3N2 感染症例の報告

○ベトナム予防保健局は、2月15日、ブタ由来インフルエンザ H3N2 の1例の感染症例を発表。患者等に関する情報は次のとおりです。

- 患者はロンアン省の2歳の女兒で、昨年4月に発症、症状は軽く、その後回復。
- 女兒は、非特異的で「奇妙な」症状が続いたことから、確認検査のため女兒の検体を米国疾病管理センター (CDC) に送付し感染が確認されました。
- この感染症例は同国初の症例ですが、人の間で伝播している証拠はなく、更なる症例も報告されていません。

【ThanhNien 紙 国内初のブタ由来インフルエンザ H3N2 感染症例 2012 年 2 月 16 日】

<http://www.thanhniennews.com/index/pages/20120216-vietnam-reports-first-human-case-with-swine-h3n2-flu.aspx>

### インフルエンザの発生情報・研究報告など

○研究：2003年に発生した鳥インフルエンザ H7N7 拡大に、風が役割

2003年にオランダで発生した高病原性鳥インフルエンザ H7N7 の感染拡大に、風がその役割をしたという研究報告。当時この発生により3千万羽の家きんが淘汰されたほか、89人が感染しうち1人が死亡しています。

【ProsOne 農場間の高病原性鳥インフルエンザの風による拡大モデル 2月14日】

<http://www.plosone.org/article/info%3Adoi%2F10.1371%2Fjournal.pone.0031114>

○コウモリから、新たなインフルエンザウイルス

グアテマラの果実を主食とするコウモリから、新たな亜型※の A 型インフルエンザウイルスが発見されたという調査報告。この調査は2009年3月、2010年10月にグアテマラ南部の8地域で捕獲された316匹のコウモリに対して行われたもので、この新たなウイルスが中米及び他の地域においてどの程度定着しているかについて更に調査しています。また、現在のところ、この新たなウイルスはヒトに感染し発症させるほど

のヒトへの適合性を有していないとされています。

※注 A型インフルエンザウイルスはヘマグルチニン(H)とノイラミニダーゼ(N)という表面抗原(タンパク質)を持っていますが、今回のコウモリのインフルエンザウイルスでのヘマグルチニンはこれまで確認されているH1~H16とは異なるH17、また、ノイラミニダーゼはこれまで確認されているものとは大きく異なるものとされています。

【PNAS コウモリから異なる系統のA型インフルエンザウイルス 2月27日】  
<http://www.pnas.org/content/early/2012/02/17/1116200109.full.pdf+html?sid=2f5ca74c-5aa6-4cb6-89e1-ba35d3854d02>

【CDC コウモリのインフルエンザについて 2月27日】  
<http://www.cdc.gov/flu/about/viruses/bat-flu.htm>

## 編集後記

**県内全域で、継続してインフルエンザ警報レベルを超えています！**

インフルエンザにかかったときは、

### ○早めの受診

重症化サインがみられたら、直ちに受診しましょう。

<重症化サインとは？>

- ・呼吸が苦しそう
- ・けいれんがある
- ・意味不明な言動がある
- ・呼びかけても答えない

また、持病があり、重症化の可能性が比較的高い方は、なるべく早めに、かかりつけ医へ診療時間内に受診しましょう。

### ○十分な休養

インフルエンザと診断されたら、外出を控え、休養を十分とりましょう。また、水分を十分に補給しましょう

### ○うつさない

人に向かって咳をしない。咳が出るときは、「咳エチケット」に心がけましょう。

【青森県庁「インフルエンザの予防について」】  
[http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/2011-2012seasonal\\_flu.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/2011-2012seasonal_flu.html)  
 (情報は随時更新中です。)

**発行：青森県健康福祉部保健衛生課**

030-8570 青森県青森市長島 1-1-1

**Phone:**

017-734-9284

**Fax:**

017-734-8047

**E-mail:**

[hoken@pref.aomori.lg.jp](mailto:hoken@pref.aomori.lg.jp)

**青森県庁「インフルエンザ対策」**

[http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic\\_flu\\_action.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic_flu_action.html)

**青森県庁「新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県」**

[http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/shingata\\_flu\\_taisaku.html#newsletter](http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/shingata_flu_taisaku.html#newsletter)